



ベトナム人が見た日本

1. はじめに

桜の国として知られている日本。近代的な技術と科学の国。カラフルな着物を着た優雅な女性がいて、極めて安全な文明社会。それが、多くのベトナム人女性が抱いている日本のイメージです。そして、私もその一人でした。私は2007年と2014年にHIDA（一般財団法人海外産業人材育成協会）とJPO（日本特許庁）が主催する知的財産トレーニングコースに参加しました。その時に、念願の日本文化に触れることができました。本稿では、その時の体験談を御紹介します。

2. TOKYO

私にとって初めての日本は、2007年10月の東京でした。ベトナム人の私にとっては、少

し肌寒い一方で、風の少ない穏やかな気候に感じました。成田空港に着くと、HIDAのスタッフが出迎えてくれたので、安心して移動することができました。HIDAのスタッフだけでなく、日本人は総じて親切だと感じました。

東京の街は、一言で言えば「クリーン」。ゴミが少なく清潔感に溢れており、車の数も思っていたほど多くないと感じたことを覚えています。それは、公共交通機関（鉄道、バス等）の発達とも無縁ではないでしょう。ベトナムは、首都ハノイですら公共交通機関が発達していないため、車（特にバイク）の数が尋常ではありません。交通渋滞も慢性化しています。東京では、多くの人が電車で移動していました。電車の中では、老若男女を問わず大半の乗客がスマートフォンを見ていました。これは、ベトナムではまず見ない光景です。一方、東京の地下鉄のラッシュアワーには参りました。話には聞いていましたが、あれほど大変な思いをすることは予想していませんでした。女性専用車両は大変重宝しまし



【写真1】女性専用車両



【写真2】紅葉シーズンの箱根から見た富士山



【写真3】 着物を来た日本人女性と著者（左）

た。

3. HAKONE

週末には関東近郊に小旅行に出かけました。とても美しい紅葉は今でも目に焼き付いています。箱根では、国立公園や温泉街を訪れました。特に、芦ノ湖は、水彩画のような美しさでした。富士山の噴火により出来たというエピソードを聞き、神秘性も感じました。箱根は富士山という自然が作った造形美なのだとして理解しました。そして、箱根から見た富士山。日本一の山は雄大でとても感動的でした。

4. THIS IS JAPAN

日本の文明社会に感銘を受けました。人々は穏やかで怒らず、誰もが知識人であると感じました。公務員、警官、タクシーの運転手、お店のスタッフ、ウェイター、道路作業員。誰もが愛想の良い態度を持ったことが印象的でした。

特に、着物を来た女性からは、日本人の精神を強く感じました。一緒にいると、心が日本人と同じ気持ちに変わっていくように感じましたが、これもまた忘れ難い思い出です。

5. 結び

日本とベトナムは、経済的にも文化的にも大きく異なります。ベトナムにとって、先進国である日本には見習うべき所が多いと思います。一方、ベトナムには、ベトナムならではの良いところがたくさんあります。両国がお互いの良いところを補完し合って、これまで以上に良好な関係に発展することを願ってやみません。

著者紹介

Đỗ Thị Mỹ Liên

Ms. Thi My Lien DO (チー・ミー・リーエン)

GIP ASEAN ベトナムオフィス (Havip Intellectual Property Group) 所属。1976年ハノイ生まれ。専門は特許、意匠、商標。2001年より知的財産分野のキャリアをスタート。2004年ベトナム弁理士試験合格。2007年、2014年JPOのトレーニングプログラムで来日。2013年よりUnited GIPsに参加。

<http://gip-asean.com/>

<http://www.havip.com.vn/>

編訳者紹介

木本 大介 (きもと・だいすけ)

日本弁理士、GIP東京所属。1977年神奈川県生まれ。専門は通信、電気、ソフトウェア。2005年弁理士試験合格。企業知財部3年、特許事務所7年の経験を経て2013年7月より現職。モットーは、「正しいモノより楽しいモノを」。

<http://www.giplaw-tokyo.co.jp/jp/>